

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2028年3月31日	評価番号	A-234
評価技術名称					連絡先			
部分開口 構造用合板補強工法					https://www.aichi-gensai.jp			
大壁「上下あき」間柱なし 薄棧あり					愛知建築地震災害軽減システム研究協議会			
					実験実施機関 :名古屋工業大学			
概要	技術概要							
	梁及び土台と面材を接合せず、継手受材、上下受材を共に奥行 30×見付 90mm の薄棧として床天井間のみを構造用合板で補強する工法。							
	技術の特徴						コスト	
要	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能 裏棧の奥行は 30mm なので壁体内に土壁や設備配管等が存在しても施工可能 一般流通品なので取り扱いが容易 						サンプル構面	12,628 円/kN
							設計見積り例	—
適用範囲					写真・図			
構法		木造在来軸組工法						
規模		3階建て以下						
基礎、地盤		特になし						
適用部位		内外壁						
耐震性能								
評価仕様:大壁直貼仕様								
壁基準耐力		壁基準剛性						
5.2kN/m		730kN/rad./m						
A-111からの低減係数 $\alpha = 1.0$ 低減なし								
壁基準耐力 $5.2 \times 1.0 = 5.2$								
設計方法								
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること								
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること								
施工者指定								
特になし								
主要構成部材の仕様								
仕様	構造用合板		大壁、厚 12mm、縦使い、各高さ 400mm 以上					
			釘 N50、CN50、@100mm 以下、四周打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下					
	間柱		なし					
	継手受材		奥行 30×見付 90mm 以上、釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち					
	上下受材		薄棧 奥行 30×見付 90mm 以上、釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち					
	四方受材		なし					
	下地材		なし					
	アルミアングル		なし					
かさ上げ材		「かさ上げ上あき」 適応可						
その他								